

主要施策名:(4)文化・芸術の振興

事務事業本数:13

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
(2)人と文化を育む地域づくり	(4)文化・芸術の振興	(1)文化交流活動の推進	241-1	市民会館建設事業	管財課
		(4)「音楽の都 玉名」づくりの推進	244-1	音楽の都づくり事業	ふるさとセールス課
		(2)文化財の保護と活用	242-1	岱明玉名線文化財発掘調査事業	文化課
			242-2	文化財保護事業	文化課
			242-3	市内遺跡試掘確認調査事業	文化課
			242-4	市内遺跡発掘調査事業	文化課
			242-5	高瀬目鏡橋保存整備事業	文化課
			242-6	くまもと県北病院文化財発掘調査事業	文化課
		(1)文化交流活動の推進	241-2	博物館事業	文化課
			241-3	博物館施設管理・運営業務	文化課
			241-4	収蔵品等管理業務	文化課
			241-5	文化振興事業	文化課
			244-2	音楽の都づくり事業	文化課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市民会館建設事業		所管課 【2】	管財課		
	作成者(担当者)		西 正宏			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり				
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興				
	施策区分	(1)文化交流活動の推進		□ 該当		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	■ 新市建設計画【	年度予定	： 金額 0 千円】		
	□ 法令、県・市条例等【					
	□ その他の計画【	】 □ 該当なし				
事業区分 【6】	□ ソフト事業	□ 義務的事業	■ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】 款 2 項 1 目 6 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名市民会館は、昭和42年3月に開館し、さまざまな文化活動の中核施設として、幅広く市民が利用している。しかし、バリアフリー対策の不足、舞台の袖の狭さなど、多くの不便さを抱え、さらに耐震性の不足や音響設備等の老朽化も著しいため、建替えを含む整備の必要性が求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、市民会館利用者、市民会館
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	音楽活動の盛んな街として、「音楽の都 玉名」にふさわしいイベントを積極的に支援し、音楽を通して地域や年代を超えた多様な交流を促すとともに、感性豊かな人間形成とまちづくり、文化レベルの向上を目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	□ 单年度繰返し 【 年度から】	■ 期間限定複数年度 【 H25 年度～ R2 年度まで】						
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市						
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負						
事務事業の具体的内容 【14】	<p>【建物計画概要】鉄筋コンクリート造 延床面積4,678m² 大ホール826席、小ホール300席、練習スタジオ、楽屋、会議室、倉庫、事務所など 駐車場132台</p> <p>➡ 【15】 事務事業を構成する細事業(2)本</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>①</td> <td>市民会館建設事業</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>市民会館建設事業(H29繰越)</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </table>			①	市民会館建設事業	②	市民会館建設事業(H29繰越)	③	
①	市民会館建設事業								
②	市民会館建設事業(H29繰越)								
③									

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	9,700	0	194,400	437,900
		県支出金	0	0	0	0
		起債	24,100	0	1,129,200	1,277,400
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	500,000
		一般財源	2,176	1,589	162,999	68,218
		【16】 小計	35,976	1,589	1,486,599	2,283,518
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0
	職人員件の費	職員人工費	0.90	0.90	0.90	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小計	5,333	5,306	5,306	5,306
合 计		41,309	6,895	1,491,905	2,288,824	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	市民会館建設事業	実施設計業務委託	委託等の件数	件	1	1	1	2
②	市民会館建設事業(H29繰越)							
③								

《コスト評価による年度比較》 [19]

コ ス ト 評 価	対象(市民)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		67577	67242	66850	66319
	投入コスト合計(千円)	41,309	6,895	1,491,905	2,288,824
	対象1単位あたりのコスト(千円)	1	0	22	35
	コスト評価(対前年比)	***	596.15% (↑)	0.46% (↓)	64.66% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	市民会館整備事業進捗率	出来高事業費／総事業費	%	0.9	0.1	38.3	58.8
2				0.9	0.1	38.3	
* 成果未達成時の理由							

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥 当 性 [21]	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	b
効 率 性 [22]	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	b
有 効 性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	b
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
<input type="checkbox"/>		・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	今年度末の市民会館建設工事竣工に向け、計画的に事業を行う。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]	平成30年6月議会にて「工事請負契約の締結」の議案を提案し、同月26日に議決を得たことから、同月27日に新玉名市民会館ホール建設の契約を締結し、工事に着手したところである。その後、令和2年3月末竣工に向け、適切な施工管理を行っているところである。	評価責任者
		木村 隆宏

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	音楽の都づくり事業		所管課 【2】	ふるさとセールス課
	作成者(担当者)		徳山 佑麻	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点施策 【4】
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		□ 該当
	施策区分	(4)「音楽の都 玉名」づくりの推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	■ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	金額 0 千円】
	□ 法令、県・市条例等【			】
	□ その他の計画【			】 □ 該当なし
事業区分 【6】	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務		
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】 款 7 項 1 目 4 細目 19	

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	本市の重要な施策である「音楽の都 玉名」づくりの推進事業において、魅力あるまちづくりを推進するため玉名市民の意識向上だけではなく「音楽の都」としての全国的な認知度向上が求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	玉名市民、観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	「音楽」と「観光」を融合させたニューツーリズムを推進して、地域の活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	□ 単年度繰返し 【 年度から】	■ 期間限定複数年度 【 平成28 年度～ 平成30 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【 】
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	□ 一部委託・請負 ■ 補助金等交付 □ その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	<p>本市ならではの観光資源を活かした音楽イベントを蓮華院誕生寺奥之院で開催することにより、警備面の手軽さと騒音問題にも対応できる。他のフェスティバルと差別化した本市オリジナルの「音楽の都」を全国発信することにより、認知度向上と集客による経済波及効果を図る。</p>		
➡			【15】 事務事業を構成する細事業(1)本
			① 玉名音楽フェスティバル補助事業
			②
			③

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	3,000	3,000	3,000	0
		【16】 小計	3,000	3,000	3,000	9,000
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	9,000
職人員件の費	職員人工費	0.34	0.45	0.37	0.00	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896	
	【17】 小計	2,015	2,653	2,182	0	
合 计		5,015	5,653	5,182	0	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	玉名音楽フェスティバル補助事業	実行委員会に補助金を交付する。宣伝活動や受入体制の整備を行う。	実行委員会開催回数	回	4	9	4	***
②								
③								

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(入場者数)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		500	1200	800	0
	投入コスト合計(千円)	5,015	5,653	5,182	0
	対象1単位あたりのコスト(千円)	10	5	6	0
	コスト評価(対前年比)	***	212.91% (↑)	72.73% (↓)	0.00% (-)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標	
1	2			H28実績	H29実績	H30実績		
1	入場者数	入場者数	人	1500	1500	1500	***	
2				500	1200	800		
* 成果未達成時の理由		前回好評だった「和太鼓」をベースに、地元高校の吹奏楽部やマーチングなどにも出演の依頼を行い、保護者等の来場を見込んでいた。当日は、玉名市民会館で別の音楽イベントが開催していたこともあり、見込んでいた来場者数が達成できなかった。						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
[21]	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		a 高い
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		b やや高い
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		c やや低い
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		d 低い
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		c
[22]	<input type="checkbox"/> 敷居評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		効率性評価
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		a 高い
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		b やや高い
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある		c やや低い
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		d 低い
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		c
[23]	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		有効性評価
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		a 高い
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		b やや高い
	<input checked="" type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		c やや低い
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		d 低い
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		c
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
公平性	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる 負担率【 0.00 %】		
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる ■ 設定できない理由(受益者負担はなじまない)			[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	年度当初よりアーティストの選定や開催方法を模索し、夜間の冷え込みなどを考慮し、玉名市総合体育館での開催を決定した。アーティストについては、既存の予算では影響力のあるアーティストの出演が見込めず、昨年度好評であった「和太鼓」をベースとし、地元音楽団体も巻き込んだ「音楽の都玉名」をコンセプトとして開催した。チケットについては、1月告知・2月を販売開始として計画的に広報活動を行った。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 ■ 休止・廃止		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	過去3年間、本市ならではの観光資源を活かした音楽イベントを目指し実施してきたが、出演アーティストによりイベントの集客・収益が大きく左右される。そのアーティストの招聘については、音楽業界との長年にわたる信頼関係の構築のほか、資金面及び組織体制共に現体制では継続が難しく、取り止めという判断に至った。	
	評価責任者 吉田 勇人	

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	岱明玉名線文化財発掘調査事業		所管課 【2】	文化課	
	作成者(担当者)		中村安宏		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点 施策 【4】	
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		□ 該当	
	施策区分	(2)文化財の保護と活用			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】
	■ 法令、県・市条例等【	文化財保護法、玉名市文化財保護条例		】	
事業区分 【6】	□ その他の計画【			□ 該当なし	
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業	
会計区分 【7】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務			
	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】 款 8 項 2 目 3 細目 6		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であるため、市道岱明玉名線計画路線内で確認された埋蔵文化財については、玉名市において発掘調査を実施し、記録保存を図らなければならない。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	埋蔵文化財、市民(※究極的対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	工事によって影響を受ける埋蔵文化財について、現地での発掘調査及びその後の整理作業・報告書刊行を行うことで記録保存を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	□ 単年度繰返し 【 年度から】	■ 期間限定複数年度 【 H22 年度～ H31 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【 】
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	<p>岱明玉名線道路新設改良工事の路線内において、埋蔵文化財の予備調査を実施した結果、事業予定地内に埋蔵文化財が確認されたため、工事着手前に現地での発掘調査を実施し、その後の整理作業・報告書刊行により記録保存を行う。</p> <p>路線面積:約29,000m² 発掘調査面積:17,601m²</p>		
➡			【15】 事務事業を構成する細事業(1)本
			① 岱明玉名線文化財発掘調査事業(補助)
			②
			③

《事務事業実施に係るコスト》

投入コスト	事業費 (千円)	H28年度決算		H29年度決算		H30年度決算		H31年度予算		全体計画
		国庫支出金	11,100	13,464	3,927	2,326	2,326	2,326	2,326	
	事業費 (千円)	県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0
		起債	7,000	10,000	3,300	2,000	2,000	2,000	2,000	183,400
		受益者負担	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0
		一般財源	400	536	473	234	234	234	234	13,336
		【16】 小計	18,500	24,000	7,700	4,560	4,560	4,560	4,560	461,986
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	10,368	14,445	7,264	0	0	0	0	
	職人員件の費	職員人工費	1.20	2.60	1.25	1.65	1.65	1.65	1.65	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896	5,896	5,896	5,896	
		【17】 小計	7,110	15,330	7,370	9,728	9,728	9,728	9,728	
		合計	25,610	39,330	15,070	14,288	14,288	14,288	14,288	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	岱明玉名線文化財発掘調査事業(補助)	岱明玉名線事業用地内の埋蔵文化財を発掘調査する。	現地調査面積(累計)	m ²	16750	17601	17601	17601
②								
③								

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(市民(※究極的対象として))	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		67577	67242	66850	66319
	投入コスト合計(千円)	25,610	39,330	15,070	14,288
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	1	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	64.79% (↓)	259.46% (↑)	104.64% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	文化財発掘調査進捗率	調査予定面積に対する現地調査進捗率	%	84	100	100	100
				84	100	100	
2	文化財整理作業進捗率	作業工程に対する作業進捗率	%	65	75	85	100
				65	75	85	
* 成果未達成時の理由							

《事務事業の評価》

評価の視点		評価結果	
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		a 高い
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		b やや高い
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		c やや低い
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		d 低い
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		
	<input type="checkbox"/> 敷しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		b
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		効率性評価
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		a 高い
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある		b やや高い
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		c やや低い
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		d 低い
			b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		有効性評価
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		a 高い
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		b やや高い
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		c やや低い
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		d 低い
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
公平性 [24]	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		b
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ⇒ 負担率【 0.00 %】		
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(負担を強いることは適当ではない)		[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	道路事業に影響の無いよう調査を効率よく展開してきた。本事業も本年度で終了する予定である。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 減額 (細事業名) 岱明玉名線文化財発掘調査事業		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]		評価責任者
	本事業の発掘作業は既に終了し、その後の整理作業についても計画通りに進んでいるため、今後も予定している来年度中の報告書完成に向け確実な事務作業の履行を図っていく。	松田智文

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	文化財保護事業		所管課 【2】	文化課		
	作成者(担当者)		末永 崇			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興				
	施策区分	(2)文化財の保護と活用			□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】	
	■ 法令、県・市条例等【	文化財保護法、玉名市文化財保護条例		】		
事業区分 【6】	□ その他の計画【			□ 該当なし		
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
会計区分 【7】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務				
	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】 款 10 項 5 目 4 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	本市には、多くの文化財が残されているが、十分な保存環境が整っておらず公開も一部に限られており、将来に向けて適切な保存整備や、活用方針を示す必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	文化財、市民、他市町村民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市内に残された多くの優れた文化財の把握と価値付けのために、文化財に関する調査を進め、適切な文化財指定・登録を推進していく。また、後世に伝えるため文化財の保存整備を図り、文化財を通して郷土の歴史を学習する場を提供するなど、活用と公開に努める。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 单年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【 】
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	■ 指定文化財を適切に保存管理するため、清掃・除草・見廻り等を実施する。また、保存環境が適切でない文化財の整備に取り組むため、公有化を進める。 ■ 未指定の文化財について、その価値付けを行い指定文化財として保存できるよう、文化財保護審議会と連携しながら調査を進める。 ■ 価値の高い国指定文化財などを、保存に留意しながら積極的に一般公開し、学習や観光の機会を提供する。		
	【15】 事務事業を構成する細事業(6)本 <ul style="list-style-type: none"> ① 文化財保存管理業務 ② 有形・無形民俗文化財補助事業 ③ 文化財保護審議会業務 		

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	120	120	120	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	10,599	15,616	11,277	12,649
		【16】 小計	10,719	15,736	11,397	12,769
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,303	0	0	0
	職人員件の費	職員人工費	1.25	2.05	1.96	2.40
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小計	7,406	12,087	11,556	14,150
		合計	18,125	27,823	22,953	26,919

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	文化財保存管理業務	地元等に委託し除草、清掃、見廻り等の管理を行う。	業務委託団体数	団体	15	15	14	14
②	有形・無形民俗文化財補助事業	指定文化財の保護・保存活動に対し補助金を交付する。	補助金交付件数	件	11	12	9	9
③	文化財保護審議会業務	会議及び現地調査を開催する。	会議等開催数	回	3	3	3	3

《コスト評価による年度比較》 [19]

コ ス ト 評 価	対象(市民)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		67577	67242	66850	66319
	投入コスト合計(千円)	18,125	27,823	22,953	26,919
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	64.82% (↓)	120.51% (↑)	84.59% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	県内装飾古墳一斉公開見学者数	玉名市内で公開対象となった各装飾古墳の見学者延べ人数	人	1000	1000	1000	1000
				752	645	873	
2	指定・登録文化財件数	国県市指定・登録文化財の累計数	件	154	154	156	157
				153	154	156	
* 成果未達成時の理由		県内装飾古墳一斉公開見学者数については、秋、春の公開とも、想定していた団体による見学がなかったことにより、目標に対しての全体見学者数は少なかった。					

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> 敷しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	b
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ⇒ 負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(負担を強いることは適当ではない)	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	指定文化財は適切に管理、保全するとともに、保存に影響ないものから積極的に公開活用を図っていく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]	評価責任者	
	評価責任者	松田智文
文化財の保護や活用をはじめ文化財保護審議会の設置など、本事務事業の各細事業は、法の規定などにより、市の責務としても取り組まなければならないため、確実かつ適正な事業の推進又は実施を行なっていく。		

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市内遺跡試掘確認調査事業		所管課 【2】	文化課		
	作成者(担当者)		蠶父雅史			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興				
	施策区分	(2)文化財の保護と活用			□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】	
	■ 法令、県・市条例等【	文化財保護法、玉名市文化財保護条例		】		
事業区分 【6】	□ その他の計画【			□ 該当なし		
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
会計区分 【7】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務				
	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【		】 款 10 項 5 目 4 細目 2		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であることから、各種開発に伴う工事との調整を図り、適切に保存されることが求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	埋蔵文化財等、市民(※究極的対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	各課(市)や開発事業者からの事業照会後、踏査・試掘・確認調査を行うことで遺跡の内容を把握し、工事との調整を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 单年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市
実施方法 【13】	□ 民間	□ その他【	□ その他】
■ 直営			□ 全部委託・請負
□ 一部委託・請負			□ 一部委託・請負
□ 補助金等交付			□ その他】
事務事業の具体的内容 【14】	各種開発事業予定地が、遺跡が存在する可能性が高い土地であったり、埋蔵文化財包蔵地内である場合に、その一部を重機や人力で掘削し、地下の状況を確認する。遺跡が存在しない場合や遺跡の現状保存が可能な場合は開発着手可能であるが、埋蔵文化財に影響を及ぼす場合は、発掘調査(本調査)が必要となる。その判断を行うための予備調査である。		
	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本		
⇒			① 市内遺跡試掘確認調査業務
			②
			③

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	2,500	6,876	2,456	3,000
		県支出金	0	687	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,500	6,189	2,456	3,000
		【16】 小計	5,000	13,752	4,912	6,000
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	2,531	2,119	1,697	702
	職人員件の費	職員人工費	0.95	2.45	1.94	1.40
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小計	5,629	14,445	11,438	8,254
合 计		10,629	28,197	16,350	14,254	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	市内遺跡試掘確認調査業務	埋蔵文化財包蔵地内の届出受付や試掘を行う。	届出受付件数	件	73	96	90	90
②								
③								

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(届出受付件数)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		73	96	90	90
	投入コスト合計(千円)	10,629	28,197	16,350	14,254
	対象1単位あたりのコスト(千円)	146	294	182	158
	コスト評価(対前年比)	***	49.57% (↓)	161.68% (↑)	114.70% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	届出に対する対応率	届出対応件数/届出受付件数×100	% 100 100	100	100	100	100
2					100	100	
* 成果未達成時の理由							

《事務事業の評価》

評価の視点		評価結果
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	
効率性	<input type="checkbox"/> 故意評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> 有効性評価	
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	b
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる - 負担率【 0.00 %】	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(国庫補助事業対象のため)	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	[25] 特になし。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	民間開発は、突発的に入ってくる可能性があり文化財調査がどれくらい必要か予測がつかない部分はあるが、国庫補助事業で対応可能のため、現状のまま継続する方が望ましい。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	(27) 法の規定により、埋蔵文化財包蔵地内の土地開発は、遺物や遺構などの埋蔵文化財に影響を及ぼす場合は発掘調査が強いられているため、その判断を行ったための当該事業は今後も適正に実施していく。	評価責任者
		松田智文

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	市内遺跡発掘調査事業		所管課 【2】	文化課	
	作成者(担当者)		蠶父雅史		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点施策 【4】	
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興			
	施策区分	(2)文化財の保護と活用		□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】
	■ 法令、県・市条例等【	文化財保護法、玉名市文化財保護条例		】	
事業区分 【6】	□ その他の計画【			□ 該当なし	
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業	
会計区分 【7】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】 款 10 項 5 目 4 細目 3		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であることから、各種開発に伴う工事との調整を図り、適切に保存(記録保存含む)されることが求められている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	埋蔵文化財等、市民(※究極的対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	開発行為によって影響を受ける埋蔵文化財を保護するため、発掘調査を行い文化財の状況を記録保存する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 单年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【】
実施方法 【13】	■ 直営	□ 全部委託・請負	□ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【】
事務事業の具体的な内容 【14】	民間の各種開発に伴い、埋蔵文化財の試掘・確認調査を実施した結果、埋蔵文化財が確認され、現状での保存が困難な場合に、事業主の費用負担による発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図る。		
➡			【15】 事務事業を構成する細事業(1)本
			① 高岡原遺跡発掘調査(整理作業)
			②
			③

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	3,358	931	167	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0
		【16】 小計	3,358	931	167	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,858	0	0	0
職人員件の費	職員人工費	0.40	0.75	0.22	0.60	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896	
	【17】 小計	2,370	4,422	1,297	3,538	
合 计		5,728	5,353	1,464	3,538	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	高岡原遺跡発掘調査(整理作業)	発掘調査の後に、整理作業を行い、報告書を作成する。	発掘調査面積	m ²	***	***	287	***
②								
③								

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(発掘調査面積)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		1560	1005	287	0
	投入コスト合計(千円)	5,728	5,353	1,464	3,538
	対象1単位あたりのコスト(千円)	4	5	5	0
	コスト評価(対前年比)	***	68.94% (↓)	104.42% (↑)	0.00% (-)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
1	整理作業進捗率			%	H28実績	H29実績	H30実績
1	整理作業進捗率	作業工程に対する作業進捗率	%	100	100	100	***
2				100	100	100	

* 成果未達成時の理由

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 [24]	<input checked="" type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	b
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ ■ 金額が妥当 □ 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 11.41 %】	
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ □ 設定できる □ 設定できない理由()	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	発掘調査の場合、効率よく作業を進め、より成果を上げることによって受益者負担を減らすことは可能である。現状のまま継続する方が望ましい。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]		評価責任者
評価責任者(課長)の所見	法の規定により、遺物や遺構などの埋蔵文化財を適正に保護することは、市の義務とされているため、記録保存を含む本事業を今後も適正に実施していく。	松田智文

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	高瀬目鏡橋保存整備事業		所管課 【2】	文化課	
	作成者(担当者)		石松直		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点 施策 【4】	
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興		□ 該当	
	施策区分	(2)文化財の保護と活用			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】
	■ 法令、県・市条例等【	文化財保護法、熊本県文化財保護条例		】	
事業区分 【6】	□ その他の計画【			□ 該当なし	
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業	
会計区分 【7】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務			
	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【		】 款 10 項 5 目 4 細目 7	

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	県指定重要文化財(建造物)高瀬目鏡橋は、平成28年熊本地震による明確な被害は表面上認められないが、地震以前から石材の開き、ズレ、亀裂が確認されていた。周辺住民の生活道路(歩道)として利用されており、また同橋を含めた高瀬裏川一帯は玉名市の重要な観光資源ともなっている。このため、文化財の保護・保存とともに周辺住民や観光客の安全確保を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	高瀬目鏡橋、市民、他市町村民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	高瀬目鏡橋の健全度を確認するための調査を実施し、危険性が認められた場合は対応策を検討し、保存の措置を講ずることにより、利用者及び観光客の安全性を確保する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	□ 単年度繰返し 【 年度から】	■ 期間限定複数年度 【 H30 年度～ R5 年度まで】						
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間						
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【】						
事務事業の具体的内容 【14】	<p>県指定重要文化財(建造物)高瀬目鏡橋の近接目視調査を業務委託により実施し、その結果危険性が認められた場合は、対応策を検討し、実施する。</p> <p>【15】 事務事業を構成する細事業(1)本</p> <p>⇒</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>①</td><td>高瀬目鏡橋健全度調査事業</td></tr> <tr><td>②</td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td></tr> </table>			①	高瀬目鏡橋健全度調査事業	②		③	
①	高瀬目鏡橋健全度調査事業								
②									
③									

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	1,809	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	1,809	0
		【16】 小計	0	0	3,618	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0
	職人員件の費	職員人工費	0.00	0.00	0.42	0.15
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小計	0	0	2,476	884
		合計	0	0	6,094	884

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	高瀬目鏡橋健全度調査事業	近接目視調査を実施し、健全度総合評価を行う。	調査橋数	橋	***	***	1	***
②								
③								

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(市民)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		0	0	66850	66319
	投入コスト合計(千円)	0	0	6,094	884
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(一)	0.00% (一) 683.87% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	高瀬目鏡橋健全度調査進捗率	調査完了橋数/予定調査橋数×100	%	***	***	100	***
2				***	***	100	
	* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

評価の視点		評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> 敷しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	b
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる 負担率【 0.00 %】	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由()	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし。		
今後の方向性 [26]	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	□ 執行方法の改善		
次年度への予算反映(連動)	<input checked="" type="checkbox"/> 増額 (細事業名) 高瀬目鏡橋修復事業		
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]	本事業による近接目視調査によって熊本県指定重要文化財である当該石橋は危険性は認められたため、今後も熊本県をはじめとする関係者と緻密に協議を重ね対応策を検討し、適正な修復を行なっていく。	評価責任者 松田智文
----------------------	--	---------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	くまもと県北病院文化財発掘調査事業		所管課 【2】	文化課		
	作成者(担当者)		宇田員将			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興				
	施策区分	(2)文化財の保護と活用			□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】	
	■ 法令、県・市条例等【	文化財保護法、玉名市文化財保護条例		】		
事業区分 【6】	□ その他の計画【			□ 該当なし		
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【		】 款 10 項 5 目 4 細目 8		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	埋蔵文化財をはじめ文化財の保護は、文化財保護法を代表とする諸法規により着実に施行していくべき地方公共団体の事務であるため、くまもと県北病院(仮称)建設予定地内で確認された埋蔵文化財については、玉名市において発掘調査を実施し、記録保存を図らなければならない。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	埋蔵文化財、市民(※究極的対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	工事によって影響を受ける埋蔵文化財について、現地での発掘調査及びその後の整理作業・報告書刊行を行うことで記録保存を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	□ 単年度繰返し 【 年度から】	■ 期間限定複数年度 【 H30 年度～ H32 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【】
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【】
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>くまもと県北病院(仮称)建設予定地において、埋蔵文化財の予備調査を実施した結果、事業予定地内に埋蔵文化財が確認されたため、工事着手前に現地での発掘調査を実施し、その後の整理作業・報告書刊行により記録保存を行う。 事業面積: 44,243.05m² 発掘調査面積: 6,890m²</p>		
➡			【15】 事務事業を構成する細事業(1)本
			① くまもと県北病院文化財発掘調査事業
			②
			③

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	31,310	7,925
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0
		【16】 小計	0	0	31,310	7,925
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	19,594	6,903
	職人員件の費	職員人工費	0.00	0.00	1.80	0.65
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
【17】 小計		0	0	10,613	3,832	
合 计		0	0	41,923	11,757	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	くまもと県北病院文化財発掘調査事業	くまもと県北病院建設予定地内の埋蔵文化財を発掘調査する。	現地調査面積(累計)	m ²	***	***	6890	6890
②			整理作業進捗率	%	***	***	10	70
③								

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(市民(※究極的対象として))	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		0	0	66850	66319
	投入コスト合計(千円)	0	0	41,923	11,757
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	1	0
	コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(一)	0.00% (一) 353.75% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	文化財発掘調査進捗率	現地調査面積/調査予定面積×100	%	***	***	100	100
2	文化財整理作業進捗率	作業工程に対する作業進捗率	%	***	***	10	70
* 成果未達成時の理由							

《事務事業の評価》

評価の視点		評価結果
妥当性 [21]	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> 敷しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにいく	
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	b
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ ■ 金額が妥当 □ 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 74.68 %】	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ □ 設定できる □ 設定できない理由()	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	特になし。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	くまもと県北病院建設事業に影響の無いよう調査を進めるためには、調査を効率よく展開していく必要があるが、業務委託が可能な業務については、積極的な民間活用を図りながら限られた期間で確実に業務を進めており、現状のまま継続する。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]		評価責任者
本事業は、非常に厳しい工程での発掘作業であったが、委託者の要望どおりの期日で作業を終了した。今後も工程予定どおりの整理作業、報告書作成作業を実施していく。		松田智文

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	博物館事業		所管課 【2】	文化課		
	作成者(担当者)		佐藤夕香			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興				
	施策区分	(1)文化交流活動の推進			□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】	
	■ 法令、県・市条例等【	博物館法、玉名市博物館条例			】	
事業区分 【6】	■ その他の計画【	玉名市教育振興基本計画	】	□ 該当なし		
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】	款 10 項 5 目 6 細目 2		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館は、平成6年5月22日に開館し令和元年度で25年目となる。これまで来館経験のある方に再度来ていただくためには、企画展内容の充実と催し物や体験学習等における新たな魅力ある事業の取組が必要である。事業に係る調査や資料収集、展示或いは外部者からの学術的・専門的な問い合わせ等に対応できる学芸員の育成を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市内外からの入館者、市民(※究極的対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名の歴史・文化の紹介を通して、市民の郷土愛を育み、各地に残る歴史的文化的遺産の継承にも繋げて行く。また、市外の方にも玉名の様々な魅力を知ってもらい、観覧者の増加と利用者の拡大を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 单年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間
実施方法 【13】	■ 直営	□ 全部委託・請負	□ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【
事務事業の具体的な内容 【14】	・収蔵品等資料を展示した企画展を開催する。 ・無料スペースによる展示及びコンサート等を開催する。 ・講座、史跡探訪、天体観測等体験型学習会を開催する。 ・市広報紙等による博物館行事の情報発信を行う。 ・外部団体からの依頼に応じて出前講座を開講する。		
⇒			【15】 事務事業を構成する細事業(5)本
			① 企画展事業
			② 催物事業
			③ 体験学習事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	9,944	10,068	10,277	11,825
		【16】 小計	9,944	10,068	10,277	11,825
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	7,697	7,834	7,874	7,625
	職人員件の費	職員人工費	0.30	0.30	0.32	0.25
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
【17】 小計		1,778	1,769	1,887	1,474	
合 计		11,722	11,837	12,164	13,299	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	企画展事業	収蔵品や収集又は借用した資料等の展示会を開催する。	展示会開催回数	回	5	5	3	2
②	催物事業	収集及び作品募集した資料等の展示、コンサート等を開催する。	催物開催回数	回	16	14	14	8
③	体験学習事業	体験学習会等を開催する。	体験学習会開催回数	回	20	15	16	4

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(来館者数)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		11500	10911	13364	16000
	投入コスト合計(千円)	11,722	11,837	12,164	13,299
	対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1
	コスト評価(対前年比)	***	93.96% (↓)	119.19% (↑)	109.51% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	博物館来館者数	博物館に入館した延べ人数	人	14000	13000	10000	16000
2				11500	10911	13364	
* 成果未達成時の理由		改修工事による臨時休館のため入館者減を予想していたが、目標は達成した。					

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	b
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる - 負担率【 0.00 %】	
<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	[24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	平成31年1月から放送のNHK大河ドラマ「いだてん」の主役に決定した玉名市名誉市民の金栗四三氏の資料を1年を通して展示し、また人材育成講座を開催して金栗四三の周知に努めた。工事に伴う休館で展示場所がない期間があったが、情報管理棟を借りて臨時展示を行った。
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	学芸業務を非常勤職員が担っているが、非常勤職員の短期間での退職が続いたため、学芸業務に必要な専門知識と経験値をもった職員が育っていない。学芸業務は博物館の要であり、専門知識と経験値をもつ人材を確保し人材の育成が急務である。将来的には、学芸業務を担う職員を非常勤職員とするか、任用の安定した職種とするかも考える必要がある。
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)

■評価責任者記入欄■

評価責任者記入欄 [27]		評価責任者
評価責任者(課長)の所見	ここロピアは社会教育施設である博物館として、今後も収蔵、展示、調査研究を更に充実し、市民等の学習の場としての機能向上を図り、また、地域活性化に資する活動にも積極的に努めていく。	松田智文

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	博物館施設管理・運営業務		所管課 【2】	文化課		
	作成者(担当者)			佐藤夕香		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点施策 【4】	
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興			□ 該当	
	施策区分	(1)文化交流活動の推進				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】	
	■ 法令、県・市条例等【	博物館法、玉名市博物館条例、玉名市博物館管理運営規則	】			
事業区分 【6】	■ その他の計画【	玉名市教育振興基本計画、玉名市公共施設長期整備計画】	□ 該当なし			
	□ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	■ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】			款 10 項 5 目 6 細目 3

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館が有する機能と役割は、歴史的・文化的価値が高い資料の収集、保存管理及び各種調査研究並びに展示・教育普及が挙げられる。また、来館者の安全で快適な利用のために適切な管理・運営を行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市内外からの入館者、市民(※究極的対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	博物館施設の適切な維持管理と運営を行うことにより、お客様に玉名の文化と歴史に興味を持っていただき、気持ちよく観覧していただく。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 单年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【】
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【】
事務事業の具体的内容 【14】	・入館料徴収や刊行物販売等の窓口業務を行う。 ・博物館施設の維持管理を業務委託により行う。 (委託内容) 施設警備、電気工作物保安管理、昇降機保守、 消防設備 保守、空調機保守、館内清掃、施設内除草	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本 ⇒ ① 運営(窓口)業務 ② 博物館建物管理業務 ③ 博物館空調設備等改修事業	

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	45,500	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	35,089	0
		一般財源	6,257	13,470	22,747	8,699
		【16】 小計	6,257	13,470	103,336	8,699
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,872	2,192	2,260	1,924
	職人員件の費	職員人工費	0.30	0.50	0.92	0.61
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小計	1,778	2,948	5,424	3,597
合 计		8,035	16,418	108,760	12,296	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	運営(窓口)業務	開館して受付業務を行う。	開館日数	日	299	301	306	306
②	博物館建物管理業務	業務委託による維持管理を行う。	委託件数	件	7	7	7	7
③	博物館空調設備等改修事業	空調設備の改修と照明器具のLED化を実施する。	工事進捗率	%	***	5	100	

《コスト評価による年度比較》 [19]

コ ス ト 評 価	対象(来館者数)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		11500	10911	13364	16000
	投入コスト合計(千円)	8,035	16,418	108,760	12,296
	対象1単位あたりのコスト(千円)	1	2	8	1
	コスト評価(対前年比)	***	46.43% (↓)	18.49% (↓)	1058.98% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	博物館観覧料徴収金額	入館者が納めた観覧料の合計金額	千円	599	599	499	1968
				1098	764	566	
2	博物館使用料徴収金額	館内レクチャーホールの使用者が納めた使用料の合計	千円	10	10	10	0
				14	0	0	
* 成果未達成時の理由		改修工事に伴う臨時休館によりレクチャーホールの貸し出し可能な期間が少なかったため。					

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにいく	
	<input type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性 [24]	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	b
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	補助事業「ガーデン・マネジメント強化事業」として今後の使用電力の低減に反映するため、空調機器及び照明器具改修工事を行った。管理棟屋上からの漏水については1ヶ所修繕したが全体ではない。床や壁のひび割れ・白華などの劣化状況については定期的に調査することとしていたが、目視による現状把握にとどまった。 改修工事に伴う臨時休館のため入館者数減を予想していたが、催し物「金栗四三展」への見学者が多かった。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

〔27〕		評価責任者
評価責任者(課長)の所見	こころピアは博物館の機能を十分に発揮するため、今後も資料や収蔵品の収集と保管に適正かつ積極的に努め、また、来館者が安全かつ快適に利用できるよう十分に配慮した管理運営を実施していく。	松田智文

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	収蔵品等管理業務		所管課 【2】	文化課		
	作成者(担当者)			佐藤夕香		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり			重点施策 【4】	
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興			□ 該当	
	施策区分	(1)文化交流活動の推進				
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】	
	■ 法令、県・市条例等【	博物館法、玉名市博物館条例、玉名市博物館資料収集管理規則	】			
事業区分 【6】	■ その他の計画【	玉名市教育振興基本計画	】	□ 該当なし		
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
会計区分 【7】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務				
	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】	款 10 項 5 目 6 細目 4		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館の理念に沿って収集した資料を適切な環境で保存し、活用できる状態を維持することは、博物館の基本的な機能である。保存した資料の活用は学術的及び文化的な発展に大きく寄与するため、機能の充実を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	収蔵品、文書・新聞記事等、寄贈・寄託者、市民(※究極的対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	博物館の理念に沿って資料を収集し、活用できる状態を維持するため、適切な保存管理を行う。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 単年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【 】
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	<p>・収蔵資料は修繕・修復、収集・整理、手入れ(刀剣)等を行い、管理する。 ・寄贈寄託者と文書による取り交わしを行い、収蔵品としての管理を行う。</p>		
	【15】 事務事業を構成する細事業(2)本 <div style="display: flex; align-items: center;"> ⇒ <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;"> <div>① 収蔵品等管理業務</div> <div>② 収蔵品寄贈・寄託手続業務</div> <div>③</div> </div> </div>		

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	2,553	1,944	1,978	2,736
		【16】 小計	2,553	1,944	1,978	2,736
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	2,045	1,442	1,072	1,889
	職人員件の費	職員人工費	0.30	0.40	0.15	0.46
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小計	1,778	2,358	884	2,712
		合計	4,331	4,302	2,862	5,448

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	収蔵品等管理業務	修繕、燻蒸等の委託を行い劣化を防ぐ。	劣化防止及び修復件数	件	0	1	0	1
②	収蔵品寄贈・寄託手続業務	寄贈、寄託の手続を行う。	手続き件数	件	14	11	7	10
③								

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(市民(究極的対象として))	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		11500	10911	13364	16000
	投入コスト合計(千円)	4,331	4,302	2,862	5,448
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	95.52% (↓)	184.11% (↑)	62.90% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

1	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	当該年度の寄託・寄贈資料の目録化率	当該年度の寄託・寄贈資料のうち目録化を終えた点数の割合	%	100	100	100	100
2				63.4	83.3	85	

* 成果未達成時の理由 資料の目録化には専門知識と経験値が必要である。現在は非常勤職員1人が担当しており、その職員も他の仕事を兼務しており目録化に集中して取り組める環境にないため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
[21]	妥当性	□ 市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		□ 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
		□ 市が事業へ関与する必要が薄れている	
		□ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
		□ 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
		■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
		□ 事業開始当初の目的から変化してきている	
		□ 敷しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
[22]	効率性	■ コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		■ 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
		□ 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
		□ 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
		■ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
		□ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
[23]	有効性	■ 成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
		□ 成果指標の目標値を達成した	
		□ 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
		□ 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
		□ 法定事務であり成果は求めにくい	
		□ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
		□ 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
公平性		□ 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	c
		□ 受益者負担がある ⇒ □ ・金額が妥当 □ ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	
		■ 受益者負担が無い ⇒ □ ・設定できる □ ・設定できない理由()	[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	満杯状態にある収蔵庫に対しては、油絵の整理用の移動可能な棚として台車を購入した。また絵本原画の保存環境改良と整理を兼ねて包紙などを購入した。 しかし整理作業が追い付いておらず、また収蔵品の増加に伴う収容量不足に対しての抜本的対策とはなっていない。
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	収蔵品の増加に伴う収容量不足に対しての抜本的対策を早期に検討し実行する必要がある。 今後も研修に積極的に参加し、学芸員の虫歯対策や美術品の取扱い方等の知識を深める。 収蔵している資料を適切な環境で保存し活用可能な状態を維持するため、温室度の適正な管理を行う。 収蔵品の目録化については随時目録化を進めていくが、現在担当している非常勤職員との引継ぎを早急に行う必要がある。
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]	成果指標である目録化率の達成を図るために方策を検討し、その実現を目指す。また、民具などですべて収蔵品や資料の適切な管理に努めていく。	評価責任者
		松田智文

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	文化振興事業		所管課 【2】	文化課		
	作成者(担当者)		兵谷有利			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点 施策 【4】		
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興				
	施策区分	(1)文化交流活動の推進			□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】	
	■ 法令、県・市条例等【	文化芸術振興基本法		】		
事業区分 【6】	■ その他の計画【	玉名市教育振興計画、文化振興基本計画		□ 該当なし		
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業		
	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】	款 10 項 5 目 8 細目 2		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市の文化振興には、文化活動を推進する文化団体や個人の自主的、自発的な文化活動が欠かせないため、市としての可能な限りの支援が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	文化的事業及び文化団体に対して、市民(※究極的対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	芸術文化都市に向け、文化関係団体や個人に対し、市が必要な支援を行うことで活動を充実させ文化の振興を図る

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 单年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【】
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	□ 一部委託・請負 ■ 補助金等交付 □ その他【】
事務事業の具体的内容 【14】	・市文化協会の運営及び活動に対し人的・財政的な支援を行うと共に、岱明太鼓等にも補助金交付による財政的な支援を行う。 ・文化財保護を目的として基金の利息分の積立を行う。 ・市民文化祭の開催にあたり、市が一部の経費を支出し共催により実施する。		
➡			【15】 事務事業を構成する細事業(4)本
			① 文化関係団体補助事業
			② 全国大会等出場激励金交付事業
			③ 文化振興景観整備基金積立事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	32	19	10	6
		一般財源	2,428	2,513	2,581	2,867
		【16】 小計	2,460	2,532	2,591	2,873
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	117	101	296	305
	職人員件の費	職員人工費	0.50	0.70	0.60	0.60
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
【17】 小計		2,963	4,127	3,538	3,538	
合 计		5,423	6,659	6,129	6,411	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
①	文化関係団体補助事業	伝統文化団体に補助金を交付し文化活動を支援する。	補助金交付団体数	団体	2	2	2	2
②	全国大会等出場激励金交付事業	文化的な全国大会等への出場者へ激励金を交付する。	大会激励金交付件数	件	1	0	1	1
③	文化振興景観整備基金積立事業	文化財保護に活用する基金に利息分を積み立てる。	積立残高	万円	5444	5444	5444	5444

《コスト評価による年度比較》 [19]

コ ス ト 評 価	対象(文化協会所属会員数)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		992	977	1012	1100
	投入コスト合計(千円)	5,423	6,659	6,129	6,411
	対象1単位あたりのコスト(千円)	5	7	6	6
	コスト評価(対前年比)	***	80.21% (↓)	112.54% (↑)	103.91% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	文化協会所属会員数	4月1日現在の会員数	人	1200	1100	1000	1100
				992	977	1012	
2	市民文化祭観覧者数	市民文化祭に訪れた観覧者数	人	1300	1300	1600	1600
				1736	1600	1800	
* 成果未達成時の理由							

《事務事業の評価》

評価の視点		評価結果	
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		
	<input type="checkbox"/> 敷しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		b
効率性 [22]	<input checked="" type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある		
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
			a
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
公平性 [24]	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		b
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ⇒ 負担率【 0.00 %】		
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(市が行う事業のため)		[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	文化芸術活動を周知し、参加者を募ってきた。今後も事業の充実・継続が必要。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	今後も広報やホームページでの周知活動を継続し、会員数増加につながるように周知活動を維持していく。		
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [27]	文化芸術は、多くの人々にとって心の拠り所でもあり、ゆとりと潤いを実感できる豊かな生活や社会を実現していく上で大切なものであるため、今後とも文化振興に努るとともに、市民文化活動にも適切な支援を行なっていく。	評価責任者 松田智文
----------------------	--	---------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	音楽の都づくり事業		所管課 【2】	文化課	
	作成者(担当者)		兵谷有利		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	②人と文化を育む地域づくり		重点 施策 【4】	
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興			
	施策区分	(4)「音楽の都 玉名」づくりの推進		□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	■ 市長公約	□ 新市建設計画【	年度予定	： 金額	0 千円】
	□ 法令、県・市条例等【				】
事業区分 【6】	■ その他の計画【	文化振興基本計画	】	□ 該当なし	
	■ ソフト事業	□ 義務的事業	□ 建設・整備事業	□ 施設の維持管理事業	
会計区分 【7】	□ 内部管理事務	□ 計画等の策定事務			
	■ 一般会計	□ 特別・企業会計【	】	款 10 項 5 目 8 細目 3	

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名女子高等学校と専修大学玉名高等学校の吹奏楽部が全国トップレベルにあり、「玉名の音楽は盛んだ」という意識がより一層高まり一定の成果を得てきたものの、「音楽イコール玉名」としては市内外に浸透していないため、玉名市を「音楽の都」として定着させる必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、他市町村民、芸術文化団体、音楽関係者に対して、市民(※究極的対象として)
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	豊富で貴重な音楽資源を有効に活用し、魅力ある音楽活動を展開することで、市民に音楽文化の素晴らしさと、全ての人々が音楽を通して感動できる音楽都市の形成を目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【 年度】	■ 单年度繰返し 【 H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	□ 国	□ 県	■ 市 □ 民間 □ その他【 】
実施方法 【13】	□ 直営	□ 全部委託・請負	■ 一部委託・請負 □ 補助金等交付 □ その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	・市民音楽祭実行委員会等の支援やスクールバンドコンサート、ロビー コンサート等の音楽活動を推進する。 ・市内小中学校等ヘアーティストを派遣し、出前コンサート等を実施する。 ・「音楽の都」を周知するため、タマにやんぐッズを制作し、各種イベント等で配布する。		
	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本 <div style="display: flex; align-items: center;"> ⇒ <ul style="list-style-type: none"> ① 音楽推進事業 ② 人材育成事業 ③ タマにやんぐッズ制作事業 </div>		

《事務事業実施に係るコスト》

		H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	1,252	0	0	0
		一般財源	2,613	3,615	3,771	4,819
		【16】 小計	3,865	3,615	3,771	4,819
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	117	101	296	305
	職人員件の費	職員人工費	0.90	1.00	0.65	0.65
		職員の年間平均給与額(千円)	5,925	5,896	5,896	5,896
		【17】 小計	5,333	5,896	3,832	3,832
		合 计	9,198	9,511	7,603	8,651

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業		手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H28実績	H29実績	H30実績	H31計画
① 音楽推進事業		会場の充実及び出演団体等の活性化を図る。	音楽イベント開催回数	回	11	12	12	14
② 人材育成事業		小中学校等を対象に出前コンサートを行う。	アウトリーチ開催回数	回	31	28	32	42
③ タマにやんグッズ制作事業		「音楽の都」周知用にタマにやんグッズを制作し、配布を行う	グッズ制作個数	回	5000	0	0	1000

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	対象(市民)	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	H31年度予算
		67577	67242	66850	66330
	投入コスト合計(千円)	9,198	9,511	7,603	8,651
	対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
	コスト評価(対前年比)	***	96.23% (↓)	124.36% (↑)	87.20% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H28目標	H29目標	H30目標	H31目標
				H28実績	H29実績	H30実績	
1	音楽イベント来客者数(市民音楽祭を除く)	スクールバンドコンサート・出前コンサート来客数の合計	人	4000	4000	5000	4300
				3982	4627	4207	
2	市民音楽祭入場者数	市民音楽祭の会場に入場した人数	人	850	850	850	800
				750	1000	777	
* 成果未達成時の理由		スクールバンドコンサートでは、ゲストを招集できなかった。市民音楽祭では、一部出演者分の座席を確保したことにより、一般参加者の座席減となつたため。					

《事務事業の評価》

評価の視点		評価結果	
妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令等で義務づけられている		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 法令等で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす		
	<input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要が薄れている		
	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている		
	<input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる		
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている		
	<input type="checkbox"/> 敷しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		b
効率性	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している		効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい		
	<input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である		
	<input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
			b
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した		
	<input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない		
	<input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる		
	<input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい		
	<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している		
公平性	<input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ⇒ 負担率【 0.00 %】		
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由(市が行う事業であるため)		[24]

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況	アーティストバンク登録数の増加に伴い、アウトリーチ事業に積極的に参加するアーティスト数も増加した。ロビーコンサートは半年先までの募集で埋まつており、市民の関心が高まっている。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的な内容	ロビーコンサート参加者にバンク登録を推進し、アウトリーチの斡旋を行つたことが、アーティスト登録増に繋がつた。市民会館の開館が近く、音楽や文化に関心が高まっており、音楽イベントの充実を図つていく。
次年度への予算反映(連動)	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	「音楽のづくり 玉名」を更に多くの市民に実感していただくために、市が主催する中核的な音楽イベントの一新を検討するとともに、引き続きアーティストバンクへの登録推進、市民音楽祭、スクールバンドコンサート、ロビーコンサート、アウトリーチ事業の充実を図つていく。	評価責任者
		松田智文